

**年頭にあたって**

明けましておめでとうございます。

年が明け、いよいよ今日から新学期が始まりました。3学期は2か月余りと他学期より約一か月短いわけですが、1年の締めくくりということもあり、大変重要な学期です。特に3年生においては、義務教育の最終段階であり進路を切り拓く時期ともなります。短い期間ではありますが、生徒たちが、充実した学校生活を過ごせるよう、職員一同、より気を引き締めて教育活動に取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

**3年生との会食****1 前校長からの引き継ぎ**

本校では、校長と3年生全生徒（216名）との会食がここ数年恒例となっています。これは、授業や部活動を担当しない校長が、少しでも生徒とのコミュニケーションを深めることを目的に実施しているもので、前校長の山路秀勝先生が始められました。

本年度も、昨年10月中旬から各クラスの一班ごとに弁当を持参して校長室に来てもらい、私と会食しています。会食では、生徒に協力してもらったアンケートをもとに「中学校生活で印象に残っていること」「実現したい将来の夢」「校長への質問」などの内容で昼食を取りつつ会話しています。現在は、3年4組5班まで終え、来月の中旬には3年生の全生徒との会食を終える予定です。

**2 会話の効用**

会食は20分ほどの短い時間ですが、私にとっては大変楽しく貴重な時間となっています。それは、生徒の顔と名前を一致させるまたとない機会となるからです。

4月に着任して以来、生徒の顔と名前を覚えようと必死に努力してきましたが、本校は市内一の大規模校（全生徒688名）であり、記憶力が低下してきた私にとって並大抵ではありません。とはいえ、卒業証書を手渡す3年生については、一人一人を確実に覚えたいと内心焦っていました。

しかし、会食を始めると大きな成果がありました。会話中の生徒の笑顔はたいへん印象的であり、新たな発見や気づきもあるので、とてもスムーズに生徒のことが頭に入っていくのです。

3 やはりコミュニケーション

会話では、私に対する質問に答えることが多くなっています。質問はバラエティに富んでおり、「校長になった理由はなにか」「朝明中学校はどんな印象か」などから、「校長はどんな仕事をしているのか（授業がなくてひまじゃないのか）」などのように、一言では答えにくい質問もあります。逆に私から生徒に将来の夢などについて質問すると、「将来はノーベル賞を取りたい」というたくましい返答や、「母が看護師をしている姿を見て自分も看護師になりたいと思った」という親子の絆を感じさせる返答があったりして、とても興味深いひと時となっています。また、少人数なので本音を話してくれる生徒も多く、生徒の個性を感じ理解を深めるまたとない機会にもなっています。

現在、1年生や2年生の生徒との新たなコミュニケーションの機会を思案中です。あれこれ考えながら、今年も子どもたちとの関わりをいっそう深めていきたいと考えています。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。